

令和6年1月 No.153  
農業改良普及課だより

愛知県豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課

〒471-8566 豊田市元城町4-45 (豊田加茂総合庁舎内)

TEL 0565-32-7509

FAX 0565-35-0416

Eメールアドレス toyotakamo-fukyu@pref.aichi.lg.jp



新年のごあいさつ  
課長 鶴田 正一

新年あけまして

おめでとうございます。



日頃は、農業改良普及事業の推進に、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
昨年、コロナ感染症の影響が徐々に少なくなってきましたが、市場経済の低迷、更には世界情勢の不安定要因から燃油、資材、肥料、飼料など様々な物資の高騰が続き、かつてないほどに農家経営が圧迫されてきました。しかし、時流は、人や経済の動きを活発化させようと様々な施策が打ち出されています。今一度基本に立ち返り、基盤を固めて発展する年としたいと思います。  
今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」です。「成功という芽が成長していく、姿を整えていく」といった縁起の良い意味が込められているそうです。今が踏ん張り時です。共に頑張りましょう。

愛知県知事から新しく認定されました！



農業経営士



梅村 公治氏  
(豊田市:いちご)

認定頂きありがとうございます。現状に満足せず万里一空を胸に頑張っていきます。よろしくお願ひします。



認定式の記念写真(R5.11.2)

令和5年度に新規認定された方です。

地域農業を牽引するリーダーとして活躍を御期待申し上げます。

県農業経営士協会50周年記念大会



記念大会(令和5年11月14日)  
ヒルトン名古屋5階銀扇の間

令和5年11月14日、ヒルトン名古屋で、愛知県農業経営士協会50周年記念大会が開催されました。「地域農業のリーダー」を愛知県知事が認定する農業経営士制度は、昭和49年度に協会設立が行われ、令和5年4月時点での会員数は742名で、全国的にも北海道、和歌山県に次ぐ3番目の規模で活動しています。

記念式典では、これまでの活動報告や県役員を務められた方への功労者表彰が行われ、管内からは、近藤義広氏(みよし市)と杉本寛文氏(豊田市)に愛知県知事の感謝状が贈られました。記念式典に先立ち、福岡ソフトバンクホークス元監督の工藤公康氏の記念講演も行われ、約300名が出席する盛大な記念大会となりました。

# 普及課管内の動き

## 本年度から始まった新しい「ミネアサヒSBL」採種ほの状況

J Aあいち豊田小原採種部会では、令和5年度から1法人（農事組合法人阿摺）が新たに種子生産に取り組んだ。農業改良普及課は、良質な種子生産のため支援を行っており、本年度は、ほ場の選定、浮き苗・漏生稲の除去、異株抜きについて重点的な指導を行った。その結果、8月・9月のほ場審査および11月の生産物審査で合格となった。生産者は「一般栽培よりも手間はかかるが、管内稲作農家のため今後も良い種子を作っていきたい」と話していた。支援は今後も継続予定であり、次年度以降は病害虫防除・収穫等に重点を置いた支援を予定している。



11月の生産物審査で合格した種子

## 「緑の学園研修」開催

農業改良普及課は10月13日に猿投農林高校1、2年生16名を対象に、先進農家の考えや経営状況の理解を深めてもらうため、緑の学園研修を開催した。研修先として就農6年目の農業者（イチゴ、落花生の生産・加工・販売）、酪農家（搾乳ロボット導入）及びJ Aあいち豊田グリーンセンター三好店直売コーナーを視察した。アンケート結果から「仕事に誇りを持っていることが伝わった」、「データを取り適期収穫を見つけたのはすごい」、「先進的な酪農技術に驚いた」、「POSシステムでの商品管理が参考になった」との意見が聞かれ、農業に対する理解と就農意欲の高まりに期待したい。



落花生乾燥機の説明を受ける猿投農高生

## 「愛宕」ジャンボ梨コンテストと輸出に向けた取り組み

J Aあいち豊田梨部会の毎年恒例イベント「ジャンボ梨コンテスト」が11月6日に開催された。今年は、20点の「愛宕」が出品され、重量とサイズを競った。優勝（愛知県知事賞）は、重さ2,954g、胴回り58.5cm、梅村和也氏が受賞した。梅村氏の梨は過去にギネス記録に認定されているが、それを上回る大きさであった。果実は即日競りにかけられ、50万円/個で競り落とされた。

今年度、梨部会はこの「愛宕」の米国輸出に取り組んでいる。栽培地登録した園地では、米国の農薬基準を考慮して栽培され、植物防疫所の実施する2回の栽培地検査も無事クリアし、11月17日から米国に向けて輸出されている。



コンテストで優勝した愛宕梨

## 洋らんPRの取り組み 東海ブロック発表を踏まえて

J Aあいち豊田花き園芸組合は、11月16日～26日に、シンビジウムを中心とした鉢花のPR展示（「ウィンター・プリンセスプロジェクト」）をコモ・スクエア（豊田市喜多町）で行った。市内外から多くの方が訪れるラリージャパン2023に展示開始を合わせ、生産者自作の展示台にシンビジウム等130鉢を配置し、彩った。

この取組については、令和5年10月12日に開催された東海ブロック普及活動現地調査研究会（普及指導員相互の研究会）でも愛知県代表として発表を行ない、参加者から高い関心を得た。



コモスクエアでのPR展示